

2年間の奮闘記録

『大学生、限界集落へ行く』

経営・森本ゼミ刊行



「理論と実践の融合」を掲げる経営学部の森本祥一ゼミが、新潟県の限界集落の活性化に奮闘した。その2年間の活動記録を、『大学生、限界集落へ行く』(本体1500円+税)にまとめた。ゼミ生(卒業生も含む)9人が執筆を担当した。



初秋を迎え稲穂が揺れる辻又の田んぼ



ゲートボールで交流(2015年9月)

南魚沼市の中山間地域にある辻又は15世帯43人(2015年5月現在)。住人の半数以上が65歳以上で、限界集落と呼ばれ、地域内の活動の担い手が不足している。森本ゼミと辻又集落との出会いは、森本准教授が14年度に新潟県から地調査を実施、住民にイ

留学生が弓道体験



弓道部員の指導を受け、弓を引く留学生たち



真剣なまなざしでの的を狙う

専大で学んでいる留学生が弓道を体験した。7月23日、生田キャンパスの短期留学生と特別聴講弓道場で開かれた「ワンデー・チームメイト」弓道教室に、専大の夏期日

「ワンデー」は専修大で学んでいる留学生が弓道を体験した。7月23日、生田キャンパスの短期留学生と特別聴講弓道場で開かれた「ワンデー・チームメイト」弓道教室に、専大の夏期日

が参加。道着を羽織り、部員16人から手ほどきを受けた。まず立ち方や姿勢を教わり、ゴム弓で弓を引く練習を繰り返した。その後、長さが2倍を超す弓を握り、実際に矢をつがえ、引き方の感触を確認。矢道に出

て、通常の半分以下の距離からの的を狙った。初回からの当たったチン・ケケンさん(マカオ・旅遊学院)は「ラッキー。うれしい」と満面の笑み。フランケ・マクシミリアンさん(独・マルティン・ルター大学ハレ・ウィッテンベルク)は「狙いを定めるのが難しい」と話し、弓道部員に姿勢を確かめてもらっていた。

最後は射場から28倍先の的を狙った。なかなか届かないが、なかには見事的中させる参加者も。ヴァン・ワンドンさん(カンボジア・王立ペン大学)は「初めは弓から手を離すのが怖かったが、次第に慣れた。的中できなかったのが悔しいのでまたチャレンジしたい」と語った。

弓道部の萩原啓介主将(文4)は「弓道はいつでも始められる競技なの

で、留学生の皆さんも機会があればまた弓に触れてほしいと話していた。15年からゼミ活動に参加

している小平美希さん(経営4)は「先輩から受け継がれた辻又での記録を、このような形で残せた。喜びを感じている。森本准教授は「地域活性化に興味をもつ学生や、限界集落の問題に悩んでいる自治体、住民の方々にぜひ読んでいただきたい」と語る。

新潟県からの受託事業は14年度1年間で終了したが、ゼミ生たちの活動は現在も続いており、16年度に再度受託事業となった。「休耕田や古民家の活用を集落の住民とともに考えるワークショップも企画している」(森本准教授)と新たなアイデアも打ち出した。専修大出版局刊。学生の出版企画・執筆による書籍の刊行は、『学生

が実現した展示会「ボクらのコウサ展ものがたり(2006年)」、「ケータイ世代が「軍郵便」を読む(09年)」に次いで3冊目。

2016年度中期留学プログラム(後期)の留学生16人が決定した。留学先、派遣期間、氏名、学部学年は次の通り(敬称略)。

ワイカト大学(ニュージーランド、8月5日) 倉本奈菜(経済3) 関根里紗(経済2) 水野翔太(法3) 中村星斗(商3) 園部玲那(文4) コリア語コース 檀国大学(韓国、8月7日) 木村圭太(経済3) 村松美希(文3) 栗尾誠実(文3) 鍋本帆乃香(文2) フランス語コース

リュミエール・リヨン第2大学CIEF(フランス、8月31日) 12月24日 根岸諒多(法3) 宮本真帆(文4) スペイン語コース イベロアメリカナ大学(メキシコ、8月1日) 12月5日 香取駿秀(文3)

神田 クリーンタウン活動

生田



神田キャンパス周辺の清掃活動を行う学生や地元の方々

2016年7月2日、恒例の「クリーンタウン」2016 in KANDA」が実施された。学生部主催、神田学生自治会、二部学生会、SKV(専修神田ボランティア)共催。学生や地域の方々など207人が、最寄り駅までの街路の清掃活動に汗を流した。

3カ所でごみ拾い 生田キャンパスでは7月2日、体育会の地域貢献活動「ワンデー・チームメイト2016」の一環として「クリーンタウン2016」が行われた。



多摩川河川敷での清掃活動(撮影:斉藤葵さん・商2・専大スポーツ編集部)

はゴミ袋を手には神田キャンパスを出発し水道橋駅、神保町駅、九段下駅に向かった。蒸し暑さに負けず、植え込みの間に捨てられたペットボトルや小さな紙ゴミを拾っていた。参加した大澤ゆいさん(法4)は「思ったよりゴミは少なかつたが、この吸い殻がたくさんあった。また機会があったら汗をぬぐった。」と語った。SKV前代表の山口隆介さん(法4)は「地域の方々や学生がコミュニケーションをとりながら清掃活動できて良かった」と汗をぬぐった。